

荻窪祝祭管弦楽団

第21回

Ogikubo Festival Orchestra
The 21st Regular Concert

定期演奏会

後藤悠仁／指揮
宮武佑果／ヴァイオリン独奏

Yuji Goto, Conductor
Yuka Miyatake, Violin

Giuseppe Verdi:
La Forza del Destino Sinfonia
Dmitri Shostakovich:
Violin Concerto No. 1 in A minor, op.77
Jean Sibelius:
Symphony No. 2 in D major, op.43

G ヴェルディ／歌劇「運命の力」序曲
D ショスタコーヴィチ／ヴァイオリン協奏曲第1番イ短調 op.77
J シベリウス／交響曲第2番ニ長調 op.43

2026年

11月7日(土)

杉並公会堂 大ホール

お問い合わせ：

荻窪祝祭管弦楽団事務局

✉ ofofcontact@gmail.com

URL www.ofo.tokyo

TEL 050-3134-5747

開演13:00 開場12:30

チケット1,000円[全席指定]

※未就学のお子さまの入場はご遠慮いただいております。

お問い合わせの際のお願い：

※メール送受信できる環境をお持ちの方はメールでのお問い合わせのご協力をお願いいたします。 ※お電話をいただくと自動で機械音声によるガイダンス後、お問い合わせ内容の録音をご案内いたします。着信を確認しましたら、後日担当より折り返しご連絡をさせていただきますので、ご対応まで少々お待ちください。 ※問い合わせ窓口への過度な催促、威圧的な言動が続く場合は、対応の一時休止や着信(受信)拒否を検討いたします。

10月1日(木)10:00

チケット販売開始

入場にはteketからのチケット購入が必要です。詳細は下記の二次元バーコードより荻窪祝祭管弦楽団のホームページをご参照ください。



www.ofo.tokyo

主催：「クラシック音楽を楽しむ街・荻窪」の会 共催：杉並公会堂(株式会社京王設備サービス)、公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団
後援：杉並区、杉並区教育委員会、公益社団法人荻窪法人会、東京商工会議所杉並支部、杉並ライオンズクラブ
協力：株式会社バンダイナムコミュージックライブ



当団は2015年11月の荻窪音楽祭出演を機に設立、「音楽を軸とした地域コミュニティ」を標榜し、楽団に関わる全ての皆さまが楽しめるような「荻窪色」豊かな楽団を目指しています。

今回はヴェルディの歌劇「運命の力」序曲で力強く開幕します。冒頭、管楽器の主音3回の繰返しが、悲劇の予感を印象付けます。続いて20世紀の協奏曲の最高傑作とも評されるショスタコーヴィチのヴァイオリン協奏曲第1番をお送りします。独奏はソリストとしては第10回定期演奏会以来の共演となる当団トレーナー宮武佑果さんです。技術面、曲の内面的精神性の表現の双方が求められる難曲に挑みます。メインはシベリウスの交響曲の中で日本では最も人気の交響曲第2番です。闇の雰囲気（第2楽章）から輝かしい終結への過程が、第3楽章～終楽章が切れ目なく奏される点も含めてベートーヴェン「運命」の「暗から明へ」を想起させ感情的解放を得られるのが人気の理由かもしれません。

皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

————— 荻窪祝祭管弦楽団 代表 小池弘真



©小谷野葉月

後藤 悠仁 Yuji Goto, Conductor 指揮

北海道妹背牛町出身。東京藝術大学を経て、1986年同大学院を卒業。1985年6月、日本フィルハーモニー交響楽団に入団、2009年まで首席奏者を務める。1993年、京都・北海道にてリサイタルを開催、好評を得る。2001年オペラシティを皮切りに、トッパンホールを経て、2004年より王子ホールにて毎年リサイタルを開催。2015年4月、日本フィルハーモニー交響楽団の常務理事に就任するとともに、ソロ活動を本格的に開始。ヴィオラ奏者としてリサイタルやオーケストラとの共演、イリス弦楽四重奏団での室内楽等、各地で幅広い演奏活動を行っている。

また、指揮者・トレーナーとしてもアマチュアオーケストラの指導など、精力的に活動している。ヴィオラを中塚良昭、故ウルリッヒ・コッホ、室内楽を故黒沼俊夫、原田幸一郎、故ゲルハルト・ボッセの各氏に師事、指揮を広上淳一氏に師事。現在、東京音楽大学指揮科特別アドバイザーも務める。荻窪祝祭管弦楽団音楽監督。

後藤悠仁



宮武 佑果 Yuka Miyatake, Violin ヴァイオリン独奏

東京音楽大学卒業。ヴァイオリンを高畠浩、大谷康子、嶋田慶子、荒井英治、ヴィオラを大野かおる、室内楽を荻田雅治、木野雅之、水島愛子各氏に師事。霧島国際音楽祭マスタークラスを受講し景山誠治氏に、ウィーン国立音楽大学セミナーを学費免除で受講しエドワード・ツィエンコフスキー氏に師事し各音楽祭演奏会に出演。第6回近・現代音楽コンクールで優秀演奏賞を受賞。第56回東京国際芸術協会新人演奏会オーディションに合格、出演。第8回セシリア国際音楽コンクールで第2位（1位無しの最高位）入賞。第15回大阪国際音楽コンクールにてエ

Yuka

スポアール賞受賞。夢科音楽祭2014に出演。その際、西村朗氏作曲「木霊」を再演。2014年と2022年にソロリサイタルを開催。2017年からはオルガニスト中澤未帆氏とともに現代音楽中心のリサイタル「生々流転」の活動を開始。その収益で東日本大震災の復興にも力を注ぐ。2018年にはコントラバス奏者金子さくら氏とデュオリサイタルを開催。第14回飛騨高山ヴィルトーゾオーケストラコンサートに出演。2021年4月に荻窪祝祭管弦楽団とベートーヴェンの協奏曲を共演。同年からふくしまチェンバーオーケストラ公演に参加。2022年9月にソロリサイタルを開催。2024年9月に照沼夢輝氏とシュターミッツ作曲のヴァイオリンとクラリネットのための協奏曲変ロ長調をCamerataOFOと共演。"ONE OK ROCK with Orchestra Japan Tour 2018"やCM出演などクラシック以外にも活躍の幅を広げる。現在後進の指導にあたりながらソロ、室内楽、オーケストラで活動中。荻窪祝祭管弦楽団顧問兼トレーナー。

[荻窪祝祭管弦楽団主催公演] 今後のお知らせ

※各演奏会詳細につきましては、各演奏会2ヶ月前頃に荻窪祝祭管弦楽団ホームページで広報いたします。

荻窪祝祭管弦楽団 第22回定期演奏会
2027年4月29日（木）
なかのZERO 大ホール

指揮 後藤悠仁
ヴィオラ独奏 小中澤基道

B.バルトーク：ヴァイオリン協奏曲 Sz120
J.ブラームス：交響曲第3番 ヘ長調 op.90
ほか